## 令和元年6月25日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 2時00分 閉会 午後 4時00分
- 2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長

関 吉廣教育長職務代理者

江口昌道委員

北村真也委員

末 永 礼 子 委 員

出藏裕子委員

福 嶋 百合子 委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦 教育部長

國 府 美 幸 次長兼総括指導主事

土 岐 泰 久 学校教育課長

伊豆田 晃 正 社会教育課長

鵜 飼 均 歴史文化財課長兼文化資料館長

平 田 米 蔵 学校給食センター所長

谷 仁志 図書館長

海老原 睦 教育研究所長

巻 田 晃 宏 教育総務課総務係長

5 傍聴者

なし

- 6 議事の大要
- (1) 開会
  - ○教育長が開会を宣言。

### (2) 前回会議録の承認

令和元年5月30日に開催した定例会の会議録について承認した。

### (3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

#### ◎亀岡市関係

- ・市中学校陸上大会が運動公園で開催された。全中学校が参加できる大会で 競技力向上につながっている。
- ・学校規模適正化にかかる学校交流事業を詳徳小学校、つつじヶ丘小学校、 南つつじヶ丘小学校で行った。初めは参加した子どもたちに緊張もみられ たが、仲良く交流し、不安が軽減されたと考える。
- ・中部地区同和教育推進協議会総会が南桑中学校で開催され出席した。子どもから大人までのセーフネット作りについて記念講演が行われ、地域の活動で子どもたちが見守られていることに感銘を受けた。
- ・蘇州市中学生派遣事業二次選考会で面接を行った。22人をグループ面接 し10人を選出した。8月20日~24日に派遣する。
- ・市議会定例会6月議会でデリバリー弁当、いじめ、学力関係等の質問があり答弁した。今後の課題についてはしっかり対応していく。
- ・校園長会議を開催し、学校経営における改善、学校長の役割等、現状をと らえて指示した。
- ・ 亀岡国際交流協会総会・交流会がガレリアかめおかで開催され出席した。 6月末に姉妹都市のクニッテルフェルト市に訪問される結団式が行われ た。
- ・令和2年成人式第1回実行委員会を開催し、今年成人式に取り組んだ実行委員も参加し、来年の成人式に向けて激励した。
- ・公民館サークルまつりが開催され出席した。地域の方のサークル活動の成果を発表する場となっている。
- ・学校規模適正化にかかる森宮区での説明会を開催した。依然として通学路の関心が高いが不安感は少なくなってきている。
- ・小・中学校教務主任会研修会で講話を行い、新学習指導要領の準備を早く から行うこと、管理職へのステップアップの心構えを伝えた。
- ・さわやか教室開講式で年7講座、5年間休まずに受講された受講生に対し「さわやか賞」の表彰を行った。
- ・大河ドラマ「麒麟がくる」亀岡市実行委員会に出席し、ドラマ館の配置な どの計画を協議した。
- ・教員を養成する8大学で構成する京都教育大学大学院連合教職実践研究科 長が来庁され面談した。

### ◎国・府等の関係

- ・府市町村教育委員会連合会定期総会が総合教育センターで行われ、京都府教育委員会教育次長から新学習指導要領の解説があり、働き方改革についても協議された。
- ・口丹波私立幼稚園 P T A連合会第45回バレーボール大会が亀岡運動公園体育館で開催され、開会式に市長とともに出席した。
- ・口丹波中学校陸上選手権大会が京丹波町で開催された。総合優勝は4年連続で東輝中学校であった。
- ・石門心学開講290年を記念して石門心学発祥の地、京都市中京区車屋町に 記念碑が建てられ除幕式に市長代理で出席した。
- ・府公立幼稚園こども園 P T A 連絡協議会総会が亀岡市役所で開催され市長と ともに出席した。

## (4)議事

○教育長職務代理者の指名について

令和元年6月30日付けで任期満了となる関吉廣教育長職務代理者については、令和元年6月24日の亀岡市議会本会議において任命同意が得られ、令和元年7月1日付けで再任されることとなった。

令和元年7月1日以降の教育長職務代理者について、教育長が引続き関吉廣委員を指名され同意された。教育長職務代理者の任期について、教育委員の任期と同じ4年、令和5年6月30日までとすることも確認された。

| 議案番号  | 件 名  |
|-------|--|
| 第4号議案 | 亀岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱施行規程の<br>一部を改正する告示について |

○第4号議案について教育部長が議案説明を行った。

第4号議案は、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まることにあたり関係規程の整備を行うもの。私立幼稚園就園奨励費補助金の交付申請について、12月末日までに入園したものに限るとしているが、補助金の対象が無償化により4月から9月までとなるため、「12月末日までに限る。」を削除するもので、告示の日から施行する。

○第4号議案について、原案どおり承認した。

#### (5) 報告事項

- ① 亀岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
- ②長期休業期間中の学校の活動を停止する日について

- ③平成30年度公立中学校卒業生徒の進路状況について
- ④令和元年度亀岡市家庭教育支援事業"子育て・親育ち講座"について
- ⑤文化資料館親子体験講座の実施について
- ⑥令和元年度7月・8月教職員研修講座のお知らせ
- ○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<長期休業期間中の学校の活動を停止する日について>

出 藏 委 員 働き方改革のこともあり、このような日をぜひ設けてほし いと思うが、学校を閉鎖しても教頭先生だけは勤務される状 況があるように思うがどうか。

教 育 長 管理職はなかなか難しい状況にあるが、文章を出すことで 保護者の理解も得やすく学校を閉めやすい状況にしたい。

江 口 委 員 「停止」と「休止」の二つの表現があり、統一してはどう か。学校活動を「停止する」より「休止する」の方が伝わ りやすいのではないか。

末 永 委 員 「活動」よりも「業務」を停止か休止の方がよいのではないか。

教 育 長 学校業務だけでなく社会体育の体育館使用等もあわせて全 体で休止をしたいと考えている。御意見を踏まえて統一し ていく方向で事務局で整理する。

関職務代理者 教職員の夏季休暇は何日あるのか。

教育次長 5日間となっている。

出 藏 委 員 空調設置工事も停止するのか。

教育総務課長 今年、空調設置工事をしている学校は、電気を止めて行う 工事を学校活動が停止するこの期間に実施したいため、先生 方に協力いただくことになる。

<平成30年度公立中学校卒業生徒の進路状況について>

末 永 委 員 全国募集を実施している高校があるが、実際に亀岡市内から応募しているのか。

教 育 長 ないとは言い切れない。全国区の募集ではクラブ活動が目 玉になっている。

福 嶋 委 員 亀岡高校や園部高校の専科は学習内容は興味深いが、その 先の進路が難しいので受験者は減っていると聞いている。

関職務代理者 例えば、公立高校の進学率が減って私立高校の進学率が増 えている要因や、専科の進学者が減っていることの要因は分 析しているのか。

教 育 次 長 各学校では生徒の声を聞いているが、教育委員会で集約して分析はしていない。

教 育 長 生徒や保護者の声を聞いていると私立に対する補助金が手 厚く先の大学につながっていることも要因にある。確なる 分析はない。

京都市内の高校はアピール・広報力が強く改革が早い。

北 村 委 員 園部高校の京都国際は最初はレベルが高かったが、受験者数が減って全員入学できるようになっている。 少しずつ改編されてきたが、思い切った改編が必要となってきた。いろいろな学校が新しい学習指導要領のもとで、新しい教育がスタートすることは子どもたちにとっても大事なことである。

出 藏 委 員 全国募集の受入れ体制について、親元を離れて生活することは大丈夫か。

教 育 次 長 府立学校なので詳細はわからないが、寮が近くにあり準備 はできていると思われる。

<令和元年度亀岡市家庭教育支援事業"子育て・親育ち講座室」について> 関職務代理者 良い取組みだと思うが、事業を実施したことよりもどれだけの親に伝えられたのかを意識していくことが大事である。エアロビクスや3B体操を否定するわけではないが、体操だけでなく「絵本でこころを育てよう」を組み合わせてはどうか。江口委員がされている「子どもの人権」のお話をもっと広く実施してはどうか。保育所ではどれ位の方が来られるのか。

社会教育課長 メインテーマはあるが、子どもの安全という観点の話も組み入れてもらいながら実施している。保育所での参加は保護者が101人、園児が69人であった。事業の後にはアンケートを実施し、今後の事業実施の希望や自由記入の意見からは子育ての気づきになっていると感じている。

北 村 委 員 おむつがとれていなかったり、一人でご飯が食べられない などの状況で幼稚園に入園してくる子どもが増えていたり、 虐待の問題があったり、今、家族・家庭の力が問われてい る。どれくらい続けておられるのかわからないが、文化的 なイメージの事業が多い。家族・社会のあり方が変わって きているので、福祉と連携しネガティブな領域も取り上げ るなど、講座のあり方を問う機会があってもいいのではないか。

末 永 委 員 未就園児と親が参加し親同士が顔をあわせる機会となっていて参加率が高く、ニーズがある事業ではある。

関職務代理者 社会教育課と保育所で関係性ができていると感じる。 今後は、まちづくり、地域おこしのためにも地域でどう子ど もを育てていくかを考えていこうという流れを、社会教育が 福祉と連携して発信していくことができるのが理想である。

教 育 部 長 子育てに悩みのある人など、本当に来ていただきたい人が来られていないのではないか。福祉のネットワークにももれている。地域が周りからどう支援をしていくのか、どう関わりを持っていくのかという視点をもつ必要がある。幼稚園や保育所で事業をしているから来てくださいと待っているだけでは十分ではない。

北 村 委 員 日本は社会教育にお金をかけてこなかった。教育といえば 学校教育がほぼ予算をとっていた。日本の社会教育のあり 方を見直さなければならないし予算がいる。予算をとるた めには考えを持ち、説明をしっかりしていく必要がある。

出 藏 委 員 PTAもボランティア団体でなかなか人が集まらないが、 参加した人が地域での発信元になって、地域で子どもを育 てることや、虐待で苦しんでおられる家庭にサーチライト があてられる活動を行うなど、PTA活動が担っている役 割は大きい。

教 育 長 虐待の問題は学校で関わりきれなくなってきている。地域 との連携が必要であり、そのための事業を練って、必要な 人材や予算を教育委員から提案していきたい。

< 令和元年度7月・8月教職員研修講座のお知らせについて>

江 口 委 員 フィールドワークの講座は暑い時でもあり、体調を崩される方もあるので、熱中症等を含めて対応をお願いしておきたい。

北 村 委 員 新しい教育の形は、学習者の主体性が求められる。 研修は授業と同じで受動的になっていないかと思う。研修 のあり方そのものを問う作業が教育研究所の中であるのか どうか。総合教育センターの研修も同じで、新しい学びの形 を作ることができたらもっと刺激となる。教育研究所の中で 議論していただける機会があればいい。

教育研究所長 シリーズ化の研修では12・13人でグループワークや事 例研究の形をとっている。すべての研修がそうなっている わけではないが、できる限り受け身一方にならないような 工夫をしている。

歴史文化財課長 フィールドワークの講師をしたことがあるが、どういう問いを子どもに投げかけるか、子どもが考える問いという視点に立った研修をされている。

教 育 長 小・中学校が一緒に参加する研修や事例から考える研修な ど、シリーズ化することで成果がでてきている。 福 嶋 委 員 京都市と亀岡市の教育環境で違いがあると聞いている。ハ

ード面、ソフト面双方あるが、他市から異動して来られた 先生方と交流する機会を作れたらよいのではないか。他市 との違いを検討することが学力向上に向けた改革の一つの

要因になればと思う。

教育研究所長 講座という形では難しいかもしれないが、学校教育課と連

携して検討していければと思う。

# (6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上